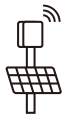


ファームアンテナソーラータイプ 通信環境のガイドライン



設置場所が適切でないと、通信の距離が短くなる他、年間を通しての稼働ができなくなることがあります。下記をご確認の上、設置場所をご検討ください。

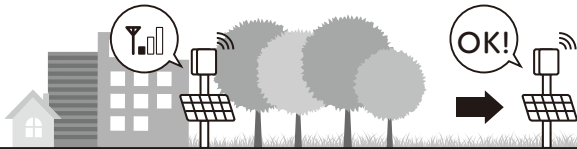
❗ お願い

年間を通して日陰にならない場所を選んでください

📶 通信距離を確保するために

❗ 見通しが良く障害物の少ない場所を選んでください

通信距離は通信機のそばに建物など遮閉物があると電波が飛びにくくなり、カバーエリアを極端に狭める原因となります。「より高く、より広く」が理想です。下記の7つの例をあわせてご覧ください。



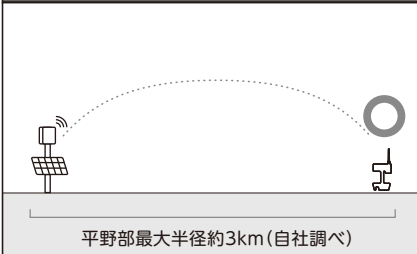
🔋 電源を確保するために

❗ 年間を通して日陰にならない場所を選んでください

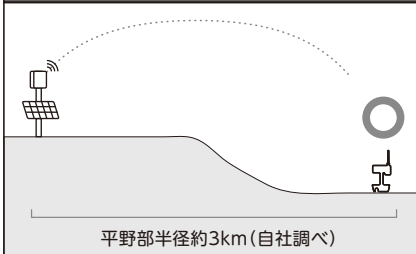
秋冬は日射量が少なく、十分に充電できないことがあります。バッテリー残量が不足すると、稼働が停止する可能性があります。安定した運用のため、秋冬でも十分な日射が確保できる場所を選んで設置してください。



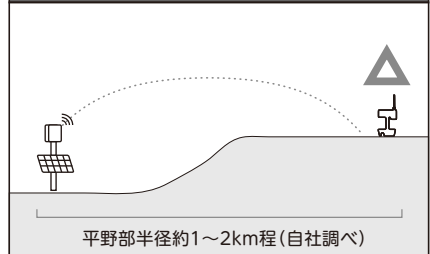
📶 見通しの良いひらけた平野部で最大半径約3km届きます



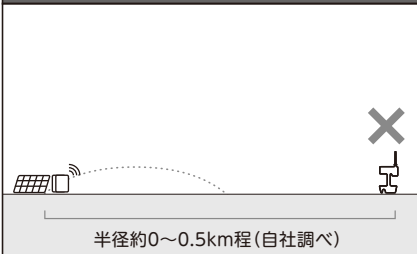
📶 通信機の位置がファーム製品より高い場合、電波が届きやすい



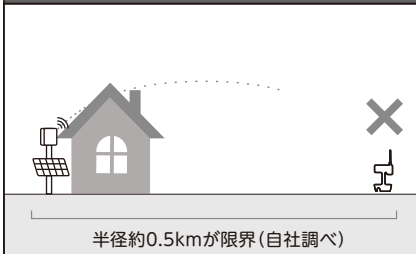
📶 通信機の位置がファーム製品より低い場合、通信距離が短くなります



📶 通信ボックスを低い位置に設置すると通信距離が極端に短くなります



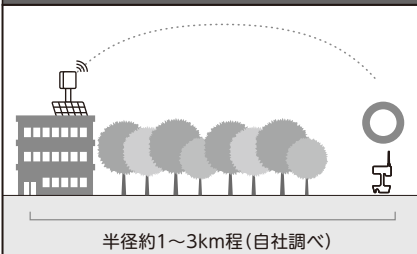
📶 通信機の近くに遮蔽物があると電波は極端に減衰します



📶 通信機とファーム製品の間に遮蔽物が多いと電波は減衰します



📶 ひらけている屋上など高い位置に通信機を設置すると電波が届きやすい



●通信距離は通信機のそばに建物など遮閉物があると電波が飛びにくくなり、カバーエリアを極端に狭める原因となります。「より高く、より広く」が理想です。

●通信機の周囲に障害物がなければいほど、通信機の位置が高いほど遠くまで電波は届くようになります。

●既に通信機が設置されている場所で、改善できそうな場所がありましたら再配置のご協力をお願いいたします。